

～入庁後から今までを振り返って～

南筑支部 南筑後県土整備事務所 對尾 勇大

入庁してから約8ヶ月が過ぎ、12月となりました。

特に今年は、社会人としての一步目をスタートした年でもあり、毎日が新鮮で、あっという間に過ぎていきました。しかし、その日々は非常に詰まっっていて、一日も無駄にすることなく、多くのことを学ぶことで必死でした。そういった意味では、長い一年だったようにも感じます。また、その働いていく日々の中で、学生の時は感じる事の無かった「責任」という言葉を意識するようになりました。業者や地元の方々に関わる際、自分が新人であるとか関係なく、一職員として見られるため、常に1つ1つの行動や、言動には注意することを心掛けてきました。

私は今、道路の維持に関わる業務に就いています。道路維持に関わる仕事は多岐にわたりますが、その中でも特に私が従事しているのは、舗装と除草です。舗装では、歩道や車道の傷んだ箇所を修繕し、除草では、高木及び低木の剪定や、その後の防草対策を行っています。住民の声として多く聞くのが、段差ができた舗装の上をトラック等の大型車が通過すると、とても大きな音が鳴って騒音がするという意見です。また除草に関しては、歩道上の草が生い茂っていることにより歩行者の歩行の妨げや、運転者からは視界の妨げになっているといった意見を多く受けます。こういった意見を聞いて初めて、住民の方が何に困っていて、どういった対処をとるべきなのかという道路維持業務の基本に気づきました。それと同時に学生の間、単に机上だけで学んできた知識では、仕事に通用しないという事を痛感しました。

仕事を進めていく上で、失敗をすることもあり、そこから今後の課題を見つけることが出来ました。それは優先順位を見極め、今やるべきことを効率良くこなすことです。当初、数ヶ所の工事を同時に持っていて、他の業務も積み重なっていく中、優先順位が分からず、期限が間近に迫っている仕事がありました。その業務を期限内に終わらせるには、どのくらいのペースで進めればよいか要領が分からず、結局、教育担当の上司に手伝ってもらい、ようやく仕事が片付きました。そのときは、わざわざ時間を使って手伝ってもらい申し訳ないという気持ちと、期限内に一人でやり遂げることが出来なかったという悔しい気持ちでいっぱいでした。そこで、解決策として教育担当の上司から、今後の予定と締切りの日程をホワイトボードに書くというアドバイスをもらいました。ホワイトボードにまとめることによって、今後の自分のスケジュールを立てやすくなり、優先順位が見ただけで分かります。また周りに見えるようにすることによって、何をしなければならぬか

を周囲に知らせるとともに、これから何をするのかを周りの人に宣言していることになるから、意地でも期限内に終わらせようという気持ちになります。また、この経験を通して、早い段階での「報告・連絡・相談」が大切だということを知りました。

今後働いていく上で、いろんな事に挑戦し、その結果、失敗をする事があると思いますが、失敗を恐れることなく、常に学びの姿勢で業務に取り組みたいと考えています。